

「ばらまかれる 放射性物質」

～福島県での除染による放射性汚染土の現状と、 公共事業に再利用したい国の思惑

放射性物質の処理は集中と隔離が基本です。しかし環境省では、福島県の除染による汚染土を全国の公共工事に再利用を進める検討を始めています。福島県での放射性除染土の現状と、国の動きについてお話をうかがいます。



フレコンバッグに包まれた南相馬市の除染土 2017年4月撮影

日程：5月16日(火)午後1時～3時

場所：生活クラブ本部 AB 会議室

講師：満田夏花(みつだかな)さん 国際環境 NGO「FoEJapan(認定NPO 法人)」理事
FoE:地球規模での環境問題に取り組む NGO。Fiends of Earth の略。

参加費：無料

申込：saitamaken.shimin.net@gmail.com